

<平成12年度「緑の分科会」活動について>

事業計画

テーマ 「茨城らしい緑の公共空間づくり」

- こどものための緑の空間づくり -

平成11年度活動では、園芸療法研究家 浅野氏を迎えての勉強会やまちづくりに園芸を活用している岩手県東和町の先駆的な取り組み状況などの調査を通じ、緑が心や体のストレスを癒すのに重要な役割を果たすことを改めて認識した。

また、特に将来を担う子供達にとって、緑の空間による心身のリフレッシュや自然（緑、水、土）と触れ合うことによって豊かな感性を育むことが重要であり、そのための機会と場の提供が、現在急がれているのではないかとの議論がなされた。

平成12年度の活動では、茨城の子供達が健やかで豊かな感性を持ち合わせ育て欲しいとの願いを込めて、自然（特に、成長しながら刻々と美しく豊かな表情を見せてくれる緑）のすばらしさに触れる機会と体験ができる公園・緑地などの創出のあり方について検討する。

○活動予定

- (1)分科会の開催：テーマに沿って調査・検討を進めるため、適宜、分科会を開催する。外部の専門家を招いての検討会には、研究会会員に公開する。
- (2)現地調査会の開催：調査・検討を進める上で、県内の子供の遊びの現場調査や関東近県での先進的取り組み調査を行う。
- (3)取りまとめ：調査や分科会での議論を踏まえ新たな公園や緑地などの創出に関する提案を行うため、イメージデッサン等を試みる。

予算計画

(1)会費費 (15,000×3)	45,000 円
(2)参考書籍購入費	10,000
(3)連絡通信費	10,000
(4)報告書等作成費	20,000
(5)現地調査費(関東近県交通費等)	115,000
合 計	200,000 円